

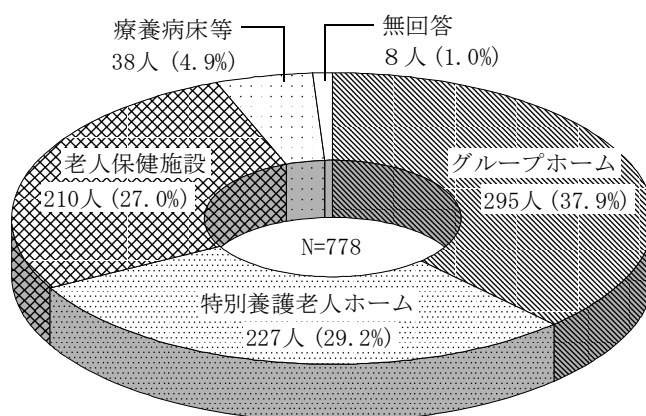
第2 調査結果

1 入居・入所・入院者の属性等

(1) 入居・入所・入院施設の種類の種類

有効回答者778人中、グループホームが最も多く295人（37.9%）、次いで特別養護老人ホーム227人（29.2%）、老人保健施設210人（27.0%）、療養病床等38人（4.9%）となっています。

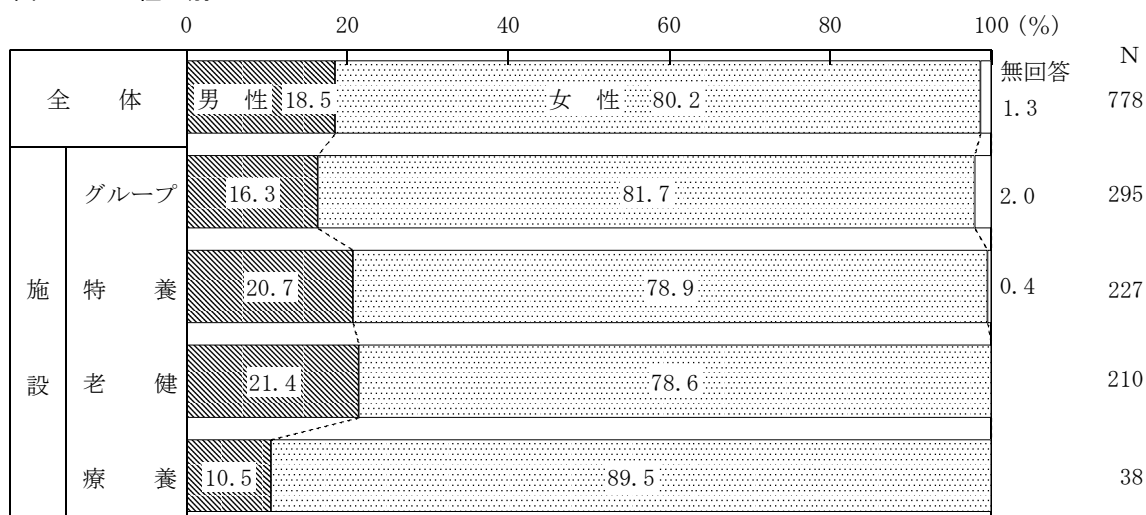
図5-1 入居・入所・入院施設の種類の種類



(2) 性別

有効回答者の80.2%が女性です。女性の比率が最も高いのは療養病床等です。

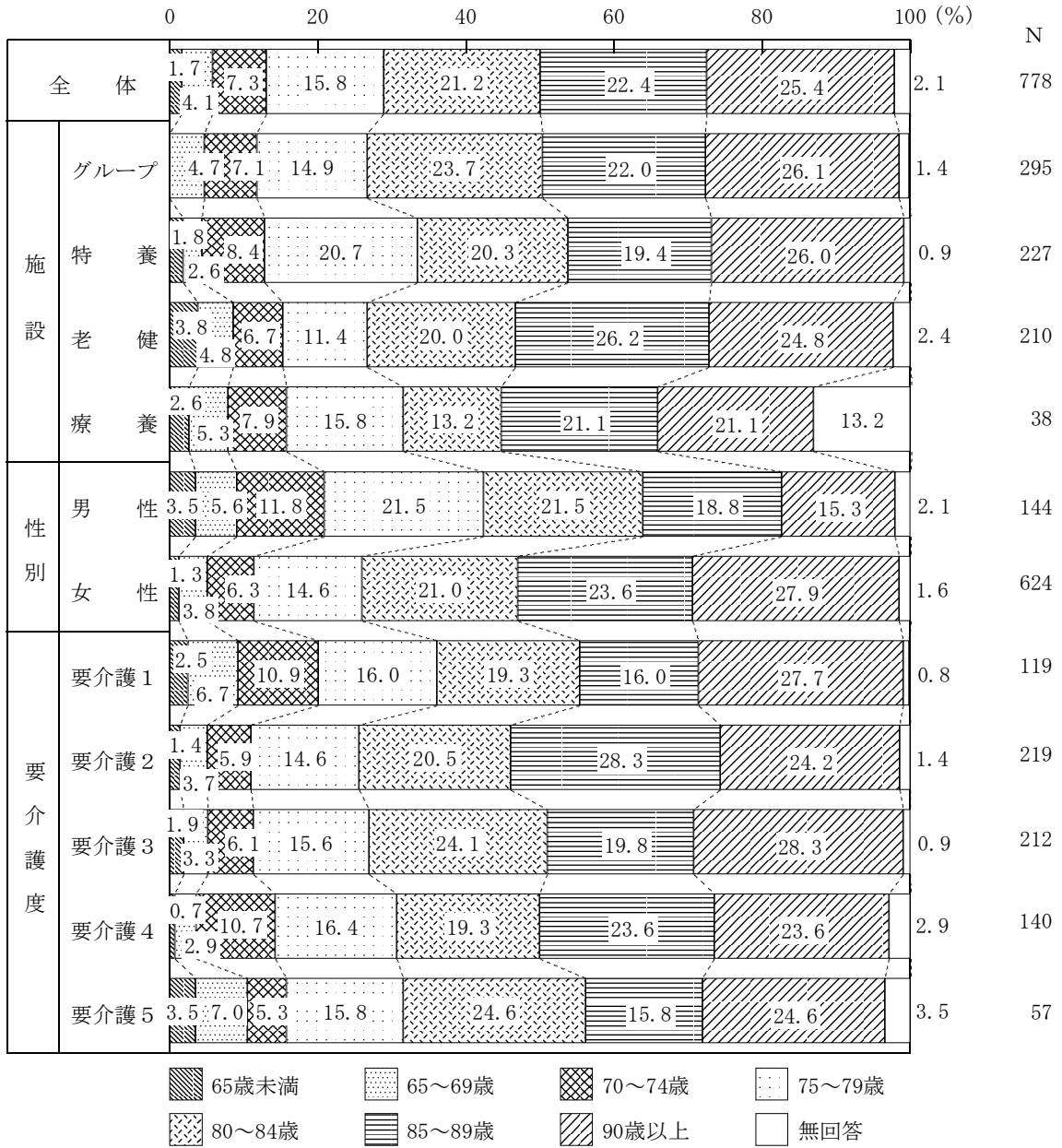
図5-2 性別



(3) 年 齢

調査対象者の年齢は、90歳以上、85～89歳および80～84歳が20%以上あります。高年齢層の比率は、男性より女性が高くなっています。

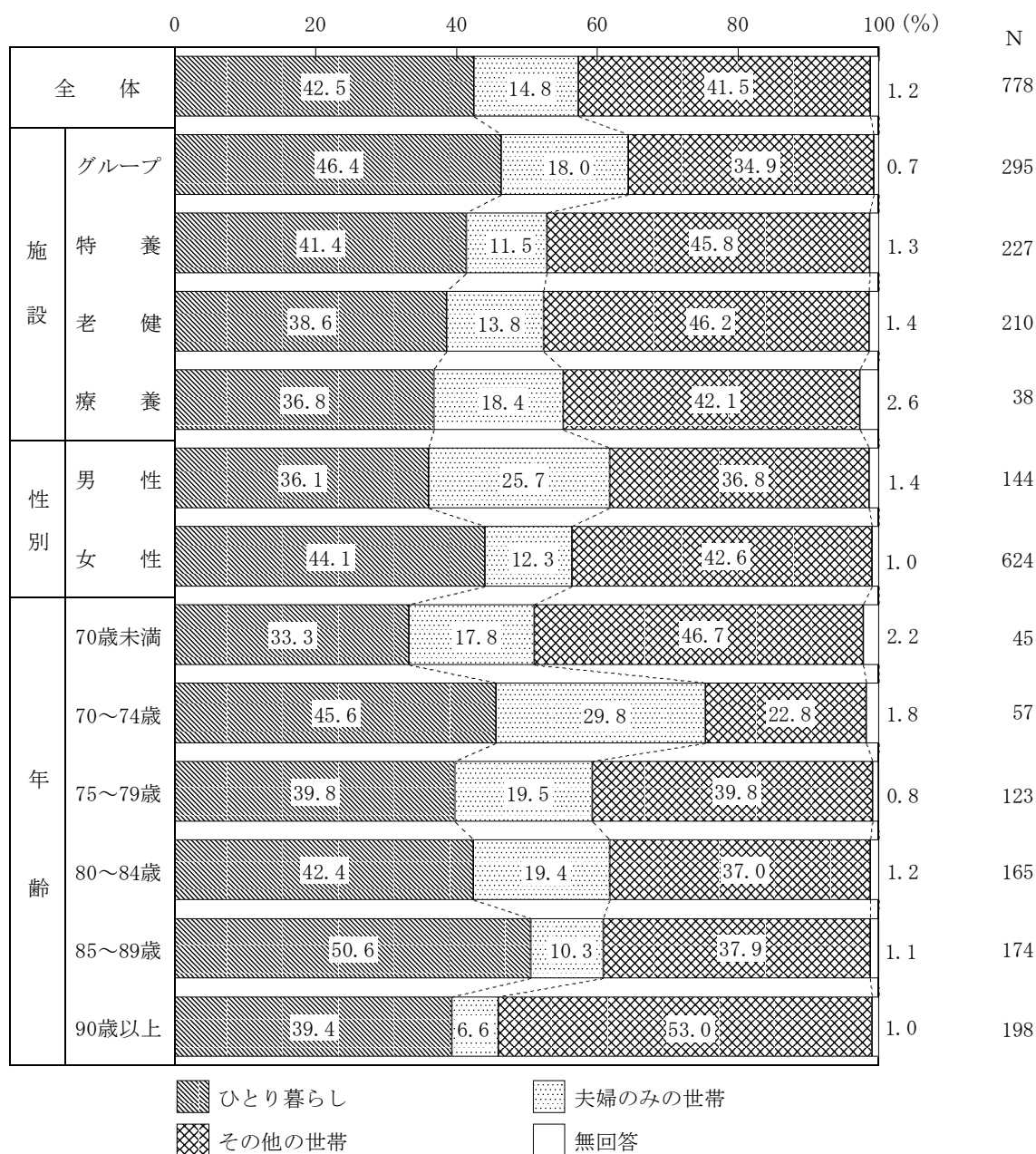
図5-3 年 齢



(4) 出身世帯

入居・入所・入院する前の世帯は、「ひとり暮らし」(42.5%)が最も高く、次いで二世帯、三世帯、四世帯と想定される「その他の世帯」が41.5%となっています。施設別にみると、「ひとり暮らし」はグループホームが高く、「その他の世帯」は老人保健施設および特別養護老人ホームが高くなっています。男性は女性より「夫婦のみの世帯」が高く、女性は男性より「ひとり暮らし」「その他の世帯」が高くなっています。

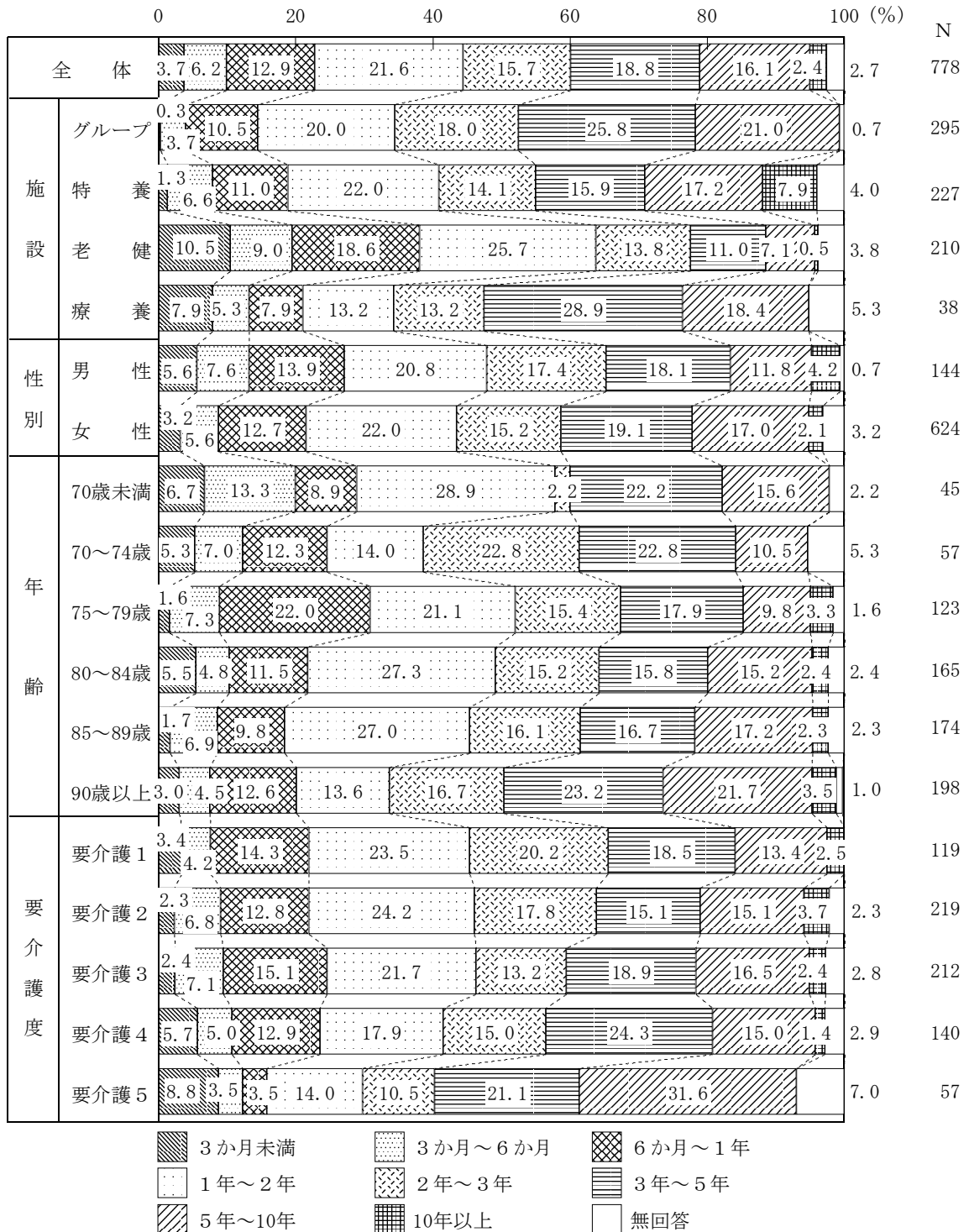
図5-4 出身世帯



(5) 施設入所後の経過期間

「現在の施設を利用してからどれくらいたちますか」という設問に対しては、「1年～2年」(21.6%)、「3年～5年」(18.8%)、「5年～10年」(16.1%)、「2年～3年」(15.7%)がやや高い率を示しています。5年以上は、特別養護老人ホームが最も高くなっています。

図5-5 施設入所後の経過期間



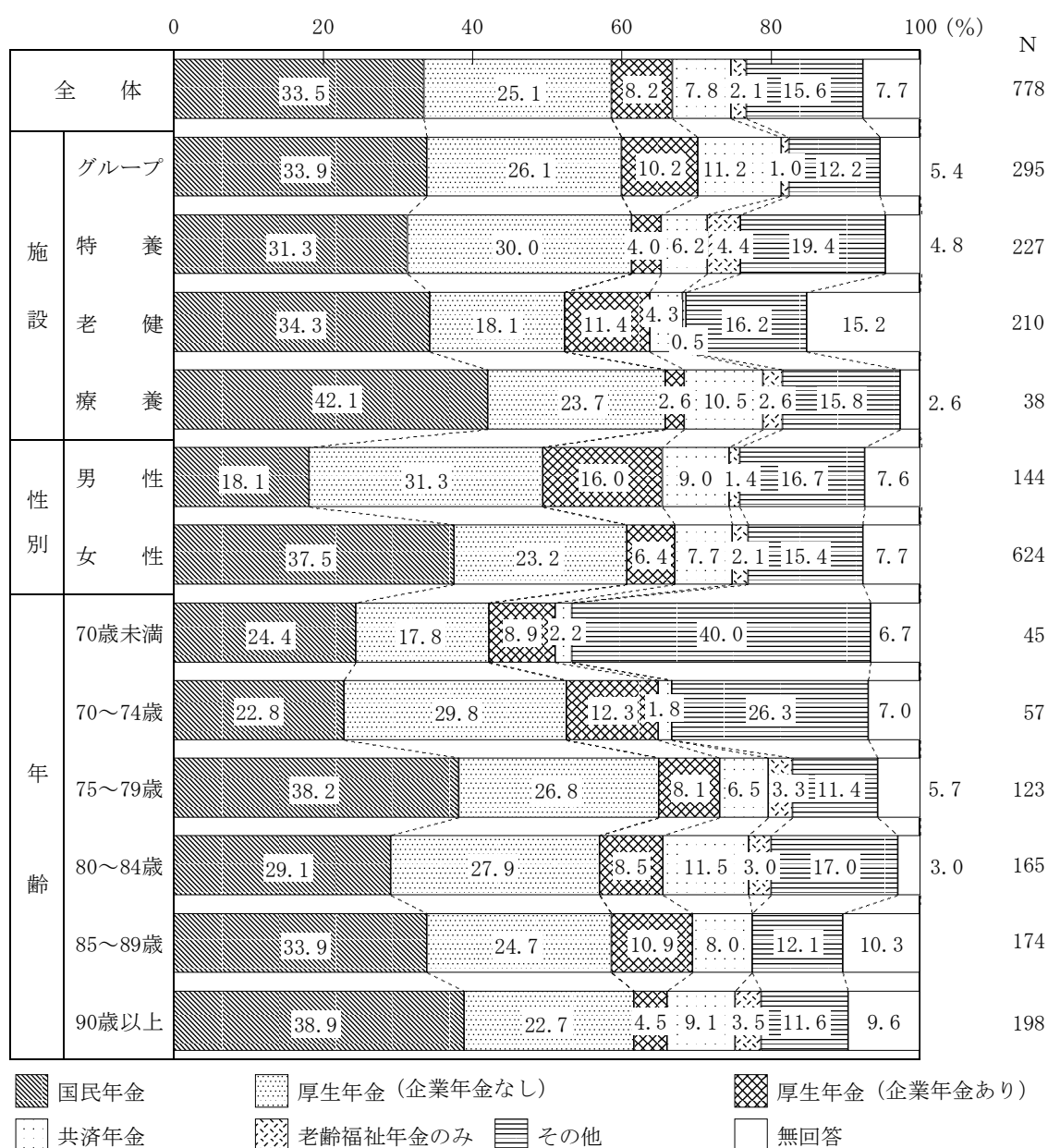
2 年金と暮らし

(1) 年金の種類

年金の種類は、「国民年金」(33.5%)と「厚生年金(企業年金なし+企業年金あり)」(33.3%)がほぼ同率です。「国民年金」は女性が高く、「厚生年金」は男性が高くなっています。

「その他」として、「遺族年金」(5件)、「生活保護」「戦死した夫の年金恩給」などの記入がありました。

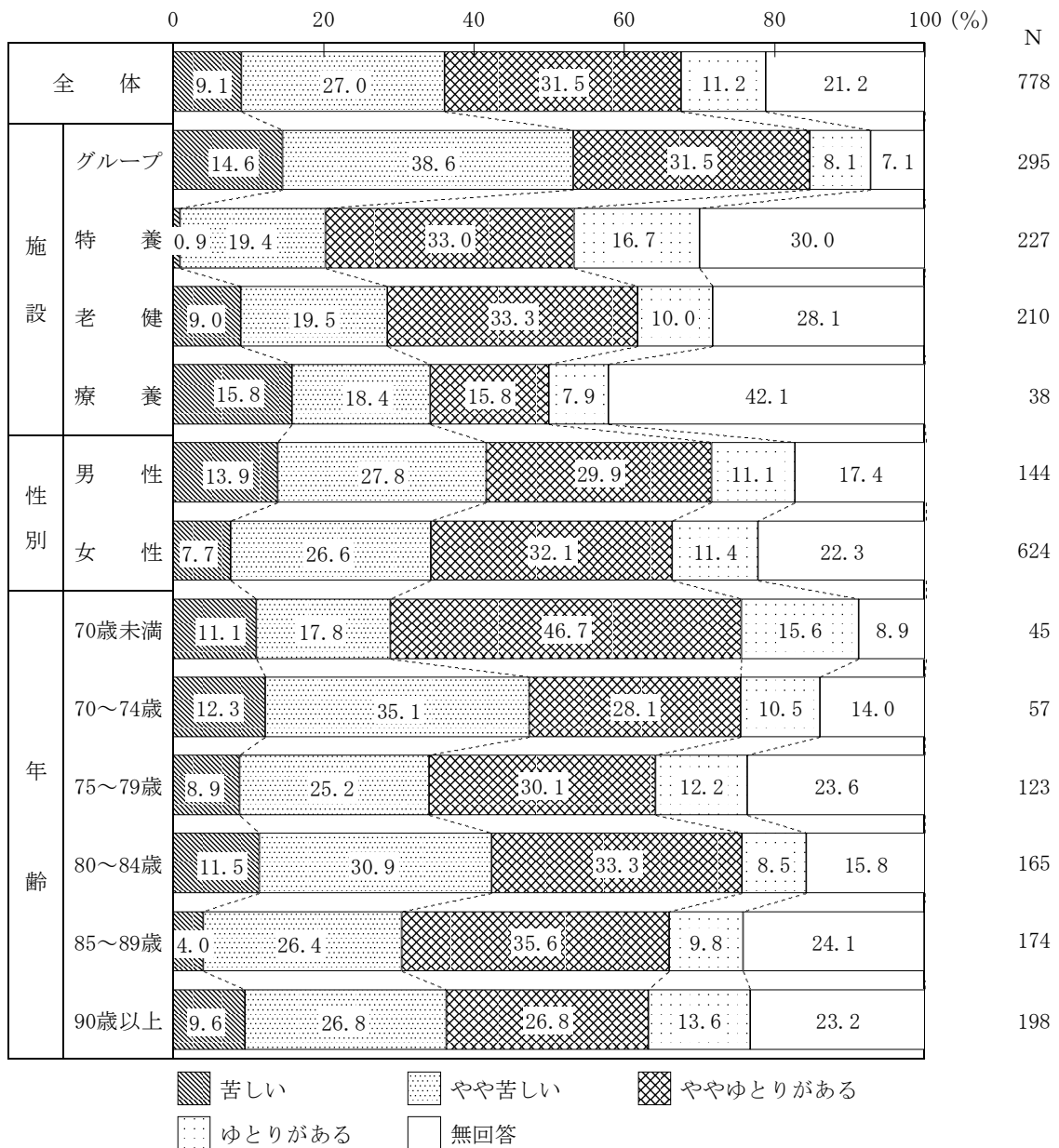
図5-6 年金の種類



(2) 暮らしの状況

「現在の暮らしの状況を総合的にみてどう感じていますか」という設問に対しては、「ややゆとりがある」(31.5%)と「ゆとりがある」(11.2%)の合計が42.7%、「やや苦しい」(27.0%)と「苦しい」(9.1%)の合計が36.1%となっています。「苦しい」「やや苦しい」の合計が高いのは、施設別のグループホーム、性別の男性、年齢別の70～74歳です。

図5-7 現在の暮らしの状況



3 要介護度、要介護認定等

(1) 要介護度

入居・入所・入院者の要介護度は、「要介護2」(28.1%)が最も高く、次いで「要介護3」(27.2%)となっており、実際の要介護度別の入所者等の割合を反映していません。これは、入所・入院者に対して社会福祉協議会職員が聞き取り調査をしましたが、重度の入所・入院者は調査不能だったためと考えられます。

図5-8 実際の要介護度別入所・入院者(平成22年9月現在)

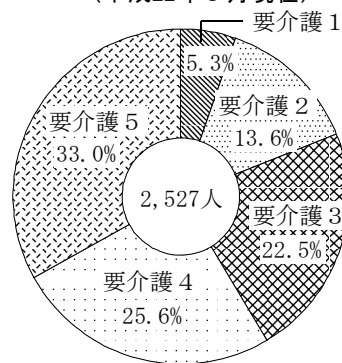
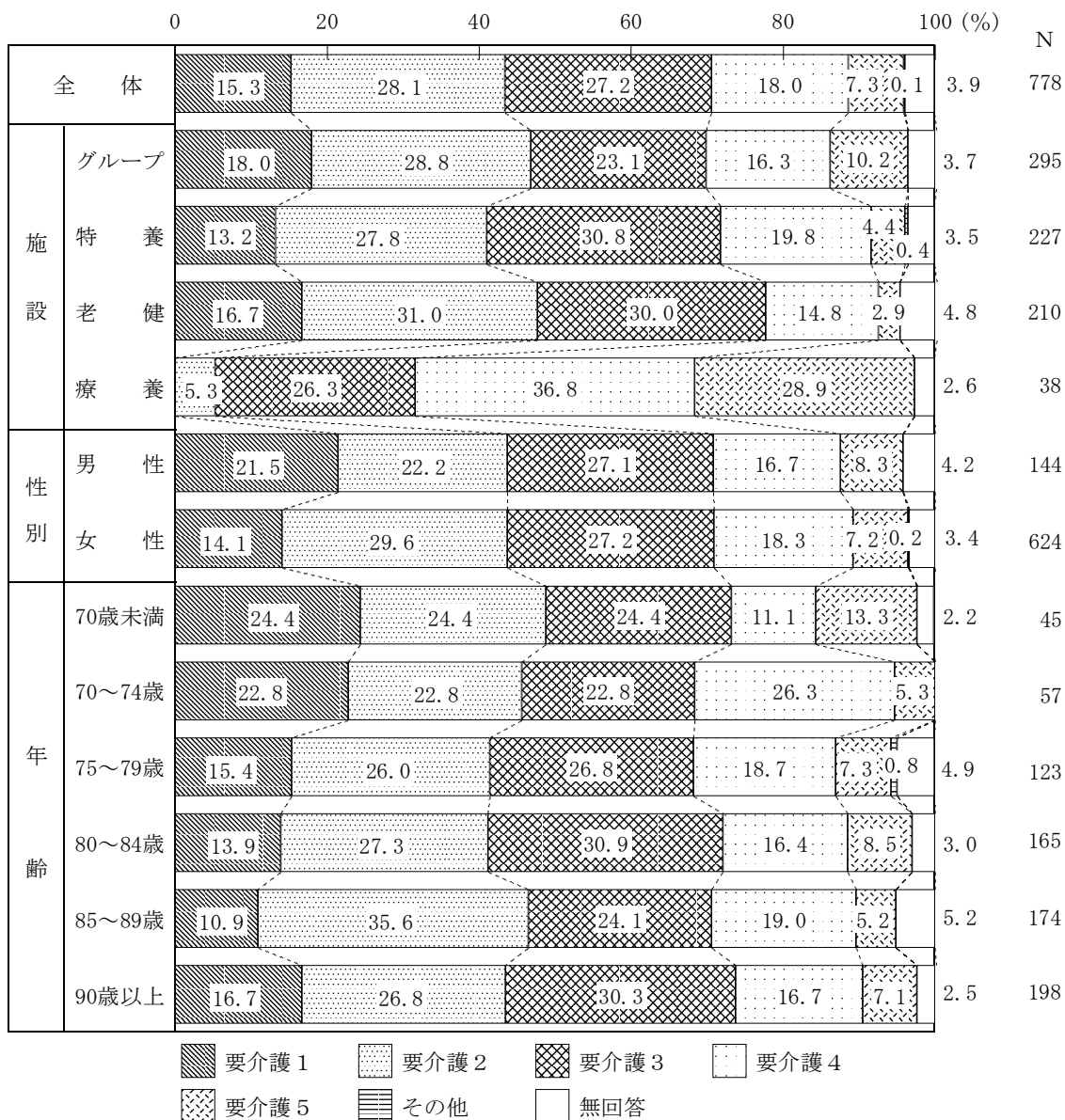


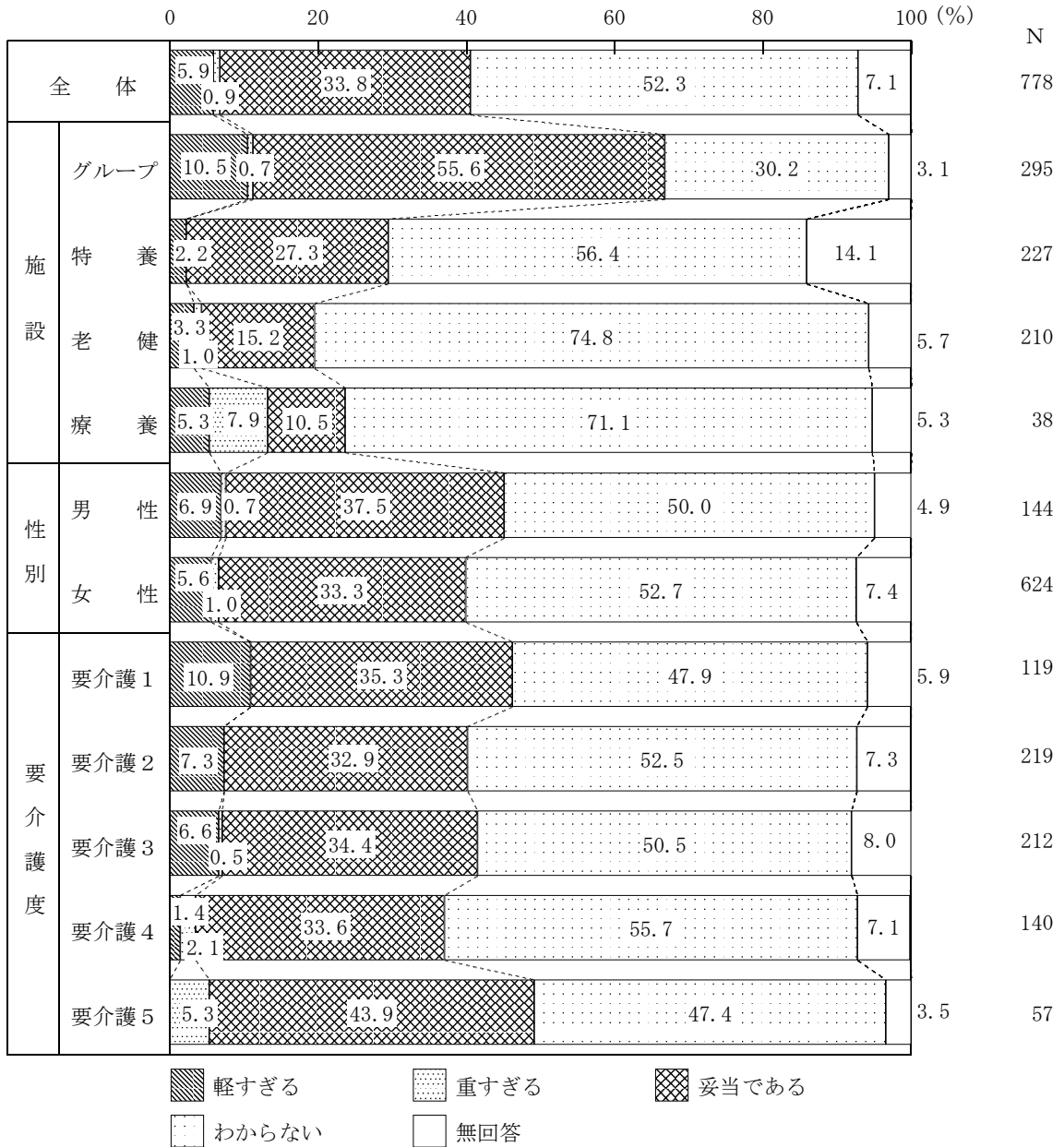
図5-9 要介護度



(2) 要介護認定に対する不満

要介護認定についての不満として、「軽すぎる」が5.9%、「重すぎる」が0.9%しかないことから考えると、ほぼ適切な要介護認定が行われていると考えられます。「妥当である」は郵送調査をしたグループホームが高くなっています。

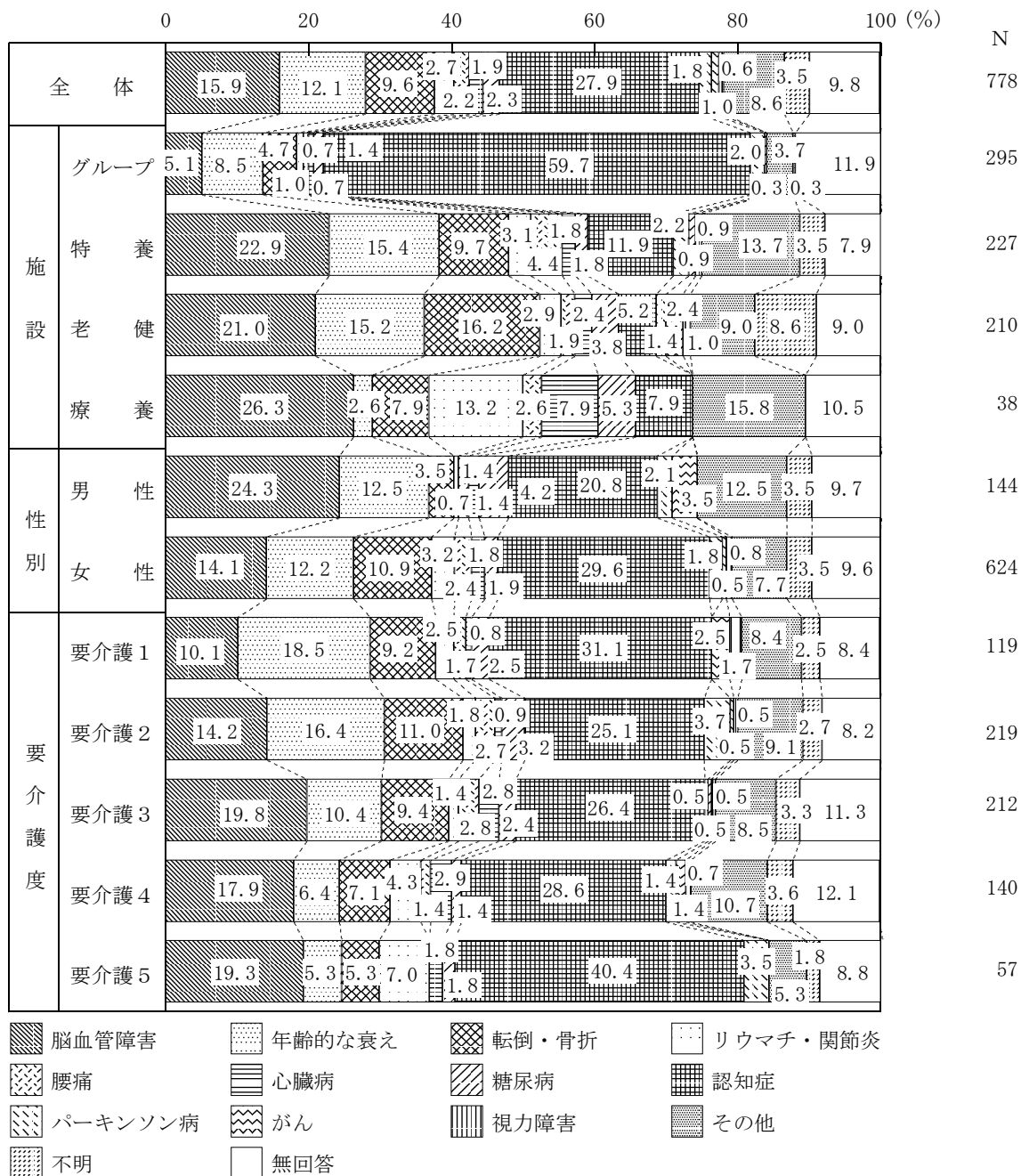
図5-10 要介護認定に対する不満



(3) 介護が必要となった主な原因

介護が必要となった主な原因としては、グループホームの高かった「認知症」(27.9%)、「脳血管障害」(15.9%) および「年齢的な衰え」(12.1%) の3項目が10%を超えています。

図5-11 介護が必要となった主な原因



「その他」として多くの病名等が記載されていました。次表はその病名等を分類したものです。

表5-1 選択肢になかった病名等

分 類	病 名 等	件数
精神及び行動の障がい	うつ病（4） アルコール中毒（2） 統合失調症（2） 精神疾患 不安神経症	10
神経系の疾患	頸椎損傷（2） 小児麻痺（2） 左マヒ	5
循環器系の疾患	熱中症（2） 胆石（2） 脱水症 低酸素脳症 肝臓 脳梗塞	8
呼吸器系の疾患	肺炎（3） 肺	4
消化器系の疾患	胃切除 便ストーマ	2
筋骨格系及び結合組織の疾患	膝痛（2） 脊椎症（2） 脊柱管狭窄症 下半身麻痺 ギランバレー 下肢筋力低下 腰椎症 カリエス	10
尿路性器系の疾患	尿路感染症 梅毒	2
傷病の外因	交通事故（6） 事故（2）	8
その他	生保（2） ステロイド使用による障害、目・耳・骨・肺の異常 家庭の事情 ADL低下 入所の順番が来たため 住む所がないため 食事ができなくなった	8

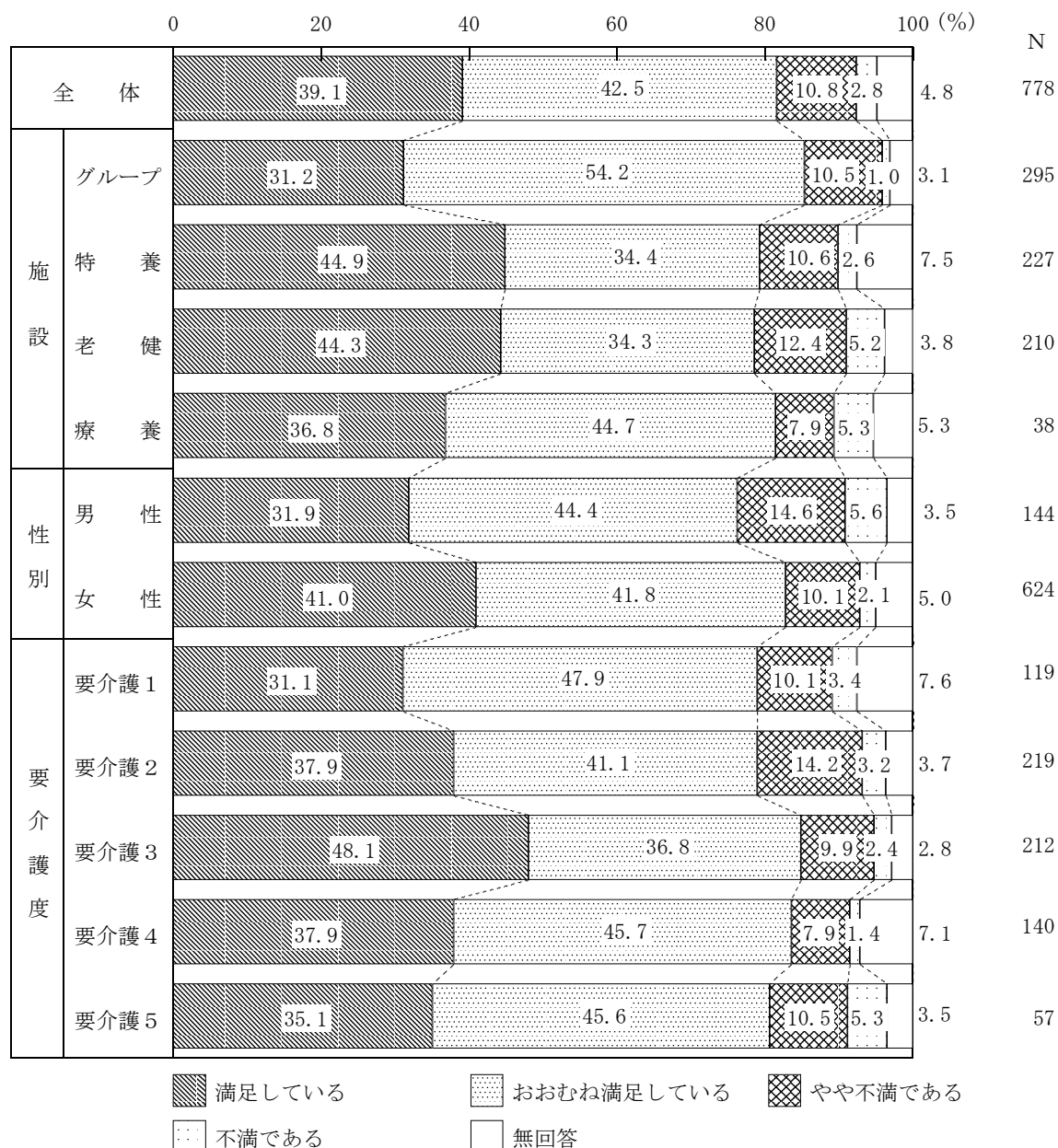
(注) 「病名等」欄の()内の数字は件数、()がないものは1件である。

4 施設に対する評価

(1) 利用施設の満足度

現在利用している施設について、「満足している」(39.1%)と「おおむね満足している」(42.5%)の合計が81.6%、「やや不満である」(10.8%)と「不満である」(2.8%)の合計が13.6%となっています。

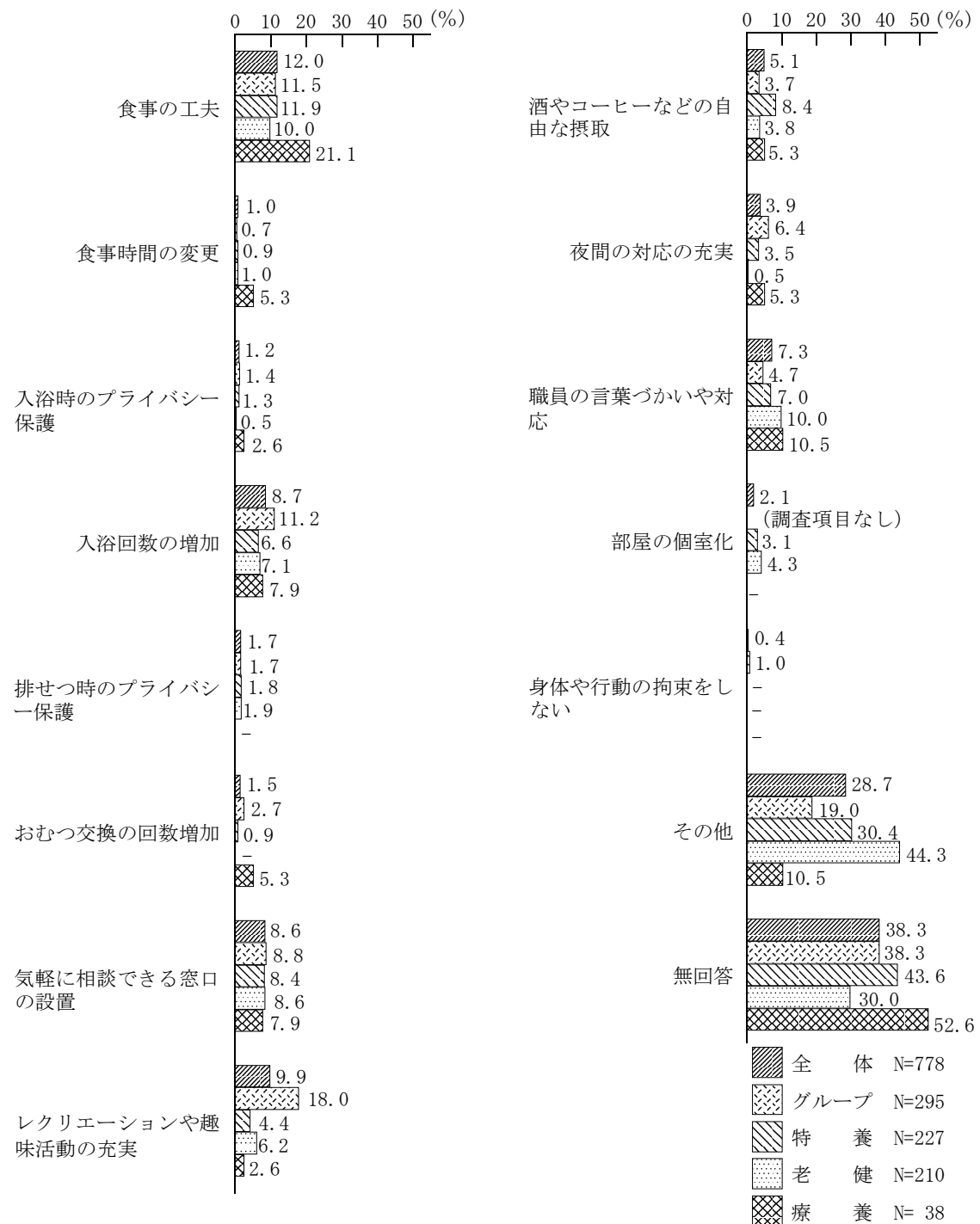
図5-12 利用施設の満足度



(2) 施設に改善してほしいこと

「現在の施設で改善してほしいことがありますか」という設問に対しては、「その他」(28.7%)、「食事の工夫」(12.0%)、「レクリエーションや趣味活動の充実」(9.9%)、「入浴回数の増加」(8.7%)、「気軽に相談できる窓口の設置」(8.6%) などとなっています。無回答が38.3%もありますが、その要因として、調査票の記入者が本人であるのは26人(3.3%)であること、改善する必要がないとする人もいることなどがあげられます。

図5-13 施設に改善してほしいこと（複数回答）



各項目についての添え書きや「その他」として多くの意見・要望が記入されていました。以下は設問に応じて区分したものです。

1 食事をもっと工夫してほしい

- 食事の量を増やしてほしい。(4件)
- 温かい物を食べたい。
- 味付けを良くしてほしい。
- 食事の味が薄い。肉が固い。油が使ってある。
- 味噌汁、お茶を熱くしてほしい。
- 硬いご飯が食べたい。
- 朝食をパンにしてほしい。
- おかゆが飽きた。
- 食事の味付けが辛い。
- 柔らかすぎる。
- 醤油の味付けが辛い。豆腐に味噌をかけるが量が少ない。
- 食事を部屋まで運んでほしい。
- 油っぽい物も食べたい。
- 肉など硬くて食べられない。

2 入浴時のプライバシーを守ってほしい

- うつろと思われて入浴の時に差別を受けている。
- 騒がしくて人間扱いしてくれない。
- 女性の職員に洗ってほしい。
- 自分で体を洗いたい。時間をかけたい。
- 入浴ゆっくりつかりたい。
- 入浴の湯が気になる。
- 湯船に入りたい。
- お風呂をもっと熱くしてほしい。
- 入浴してから浴槽の掃除してほしい。
- 風呂は、動ける人と思って、やってくださいと言う。楽しんでいるように思われている。

3 入浴の回数・時間を増やしてほしい

- 冬は週2回でもいいが夏は週3回に。
- 週3～4回にしてほしい。
- 入浴週2→3回

4 排泄時のプライバシーを守ってほしい

- 汚れている時がある。

- 部屋に水洗トイレを作ってほしい。夫婦で暮らすスペースが狭い。
- トイレのティッシュが一層なので（硬い、ゴワゴワ）二層で柔らかい物にしてほしい。
- 部屋の中にトイレがほしい。
- シャワートイレにしてもらいたい。
- トイレ、風呂の整備が悪すぎる。
- おむつ（尿とりパッド）交換の回数が多すぎる。

5 居住環境を良くしてほしい

- 夜間がうるさい。
- 手で触れる場所を清潔に。
- 身の回りを清潔に心がけてほしい。
- 生活の場所が2階のため、足の不自由な者には下のお風呂に行くのがかなりきつい。
- 非常階段が急なため、火災が起きた場合、歩行困難な人が多いので、夜間一人でフロアーの老人全員を避難させるのは絶対に無理である。とても不安です。
- フロアーに加湿器を置いて、風邪の菌（空気に混ざった）を床に落とし死なせてほしい。
- エレベーターを増やしてほしい。売店、電話。

6 利用者のトラブル等がある

- 入所者ともめることがある。
- 仲間同士で言い合いをしていたことがある。
- 他者に気を使わなければいけない。
- 騒がしい入所者を何とかしてほしい。
- 本人は気ままな方です。一人でいることが好きなので、なかなか皆と一緒に行動ができません。
- 他の利用者と合わない。
- 人間関係（入居者）。私の性格もあり、うまくいっていないと思う。

7 気軽に相談したい

- 話し相手がほしい。
- 会話できる方がいない。
- 特に精神科。

8 もっと家族に情報がほしい

- 気軽に家族と連絡が取れるようにしてほしい。
- 訪問時だけでは細かい所はわからない。訪問時では、ほぼ良いのではないかと思う。

9 レクリエーションや趣味活動を充実してほしい

- カラオケがしたい。
- 座ってるだけ。運動したい。

10 外出したい

- 自由に外出したい。(6件)
- 散歩等に外に出かけたい。(3件)
- 外出(外食)ができなくなった。
- 外出、おやつを買いに行きたい。
- 外出したい。外の空気にふれたい。散歩もできない。
- 外出することがなく、どこかへ出かけたい。
- 外出、月に1回くらいは出たい。
- 家に連れて行ってほしい。

11 買い物をしたい

- 売店があれば良い。(2件)
- お菓子の販売店がほしい。
- 週1~2回バローなどで買い物したい。
- 喫茶店や売店があると良い。

12 自由がない

- 自由に水が飲みたい。
- 自分で何かをやろうと思うが制限をされる。
- 毎日が退屈である。何か手伝いでもできれば…。
- もっとゆったりと過ごしたい。
- 我慢だらけ。
- 自分で薬管理をさせてほしい。
- 携帯電話を使いたい。
- 電話をかけられない。
- 家族の入退室が職員の手を借りなくても(開錠、施錠)自由にできるような工夫がほしい。

13 職員の言葉づかいや対応をよくしてほしい

- 利用者が何もわからないと思うのか、あらかねやり方をする。
- スタッフが若い、考え方の相違がある。
- 若い人がムツとした顔をする。
- きつく言う人がいる。そういう人はクビにしろ。
- 病人扱いしてほしい。
- 仲良くするしか仕方がないが、もう少し優しくしてほしい。
- 毎日の心配りをしてほしい。療母さんからの声かけをしてほしい。自分からは忙しそうで頼みづらい。話を聞いてほしい。
- 職員さんの気配りが無い。お願いしたい時にすぐに動いてくれない。

- ちょっとしたことで差別される。片方の言い分だけ聞く。ベッドをかえてくれない。
- 職員に対して怒りたいことがある。
- 男の介護職員と合わない。夜間他の利用者に大声で怒鳴るので気になる。いいところでテレビを切られる。
- 職員間の連絡徹底。たいした連絡じゃない時は家族に仕事中心で何度も電話せず、指定した夜に電話してほしい。
- 自分でできることもあるので、全部しないでほしい。部屋に何も置いてないので、自分の物を見ることもできない。
- 都合の良い時と悪い時がある。
- 職員の人事異動の早さ。リーダーが年に3回も替わって良い介護ができるわけがない。
- 職員の方が自分の仕事で手いっぱいなのか、老人一人ひとりの話しかけが歩きながらで、同じ目線で話をすることが少ない。職員の方が看る人の担当を決めて、公平に声かけをお願いしたい。
- 認知症に対する接し方をもう少し勉強して、穏やかに心豊かに優しく接してほしい。老人の言葉に否定することなく対応してほしい。時々行った時に怒ったり怒鳴ったりしている。
- 本人の希望を聞いて心のケアをしてほしい。

14 職員が不足している

- 職員の数を増やしてほしい。(4件)
- 頼みたくてもトイレに職員がいない。
- 職員に頼みたいことがあってもすぐ来てくれない。
- やれないことはやってほしい。
- 頼んでもすぐに対応してもらえない。
- 風邪薬がほしかったが、看護師がいなくて朝まで待たされた。

15 リハビリをやってほしい

- リハビリの回数を増やしてほしい。(2件)
- リハビリを増やしてほしい。週1回もない。週2回やってほしい。
- リハビリしたり外出したい。
- 動かないといけないとされるのが嫌。
- お風呂、リハビリを待っている時間が長い。
- リハビリ、マッサージ。

16 ない・言えない

- ない。(116件)
- わからない。(8件)
- わからないけど、もう少し良くしてほしい。

17 その他

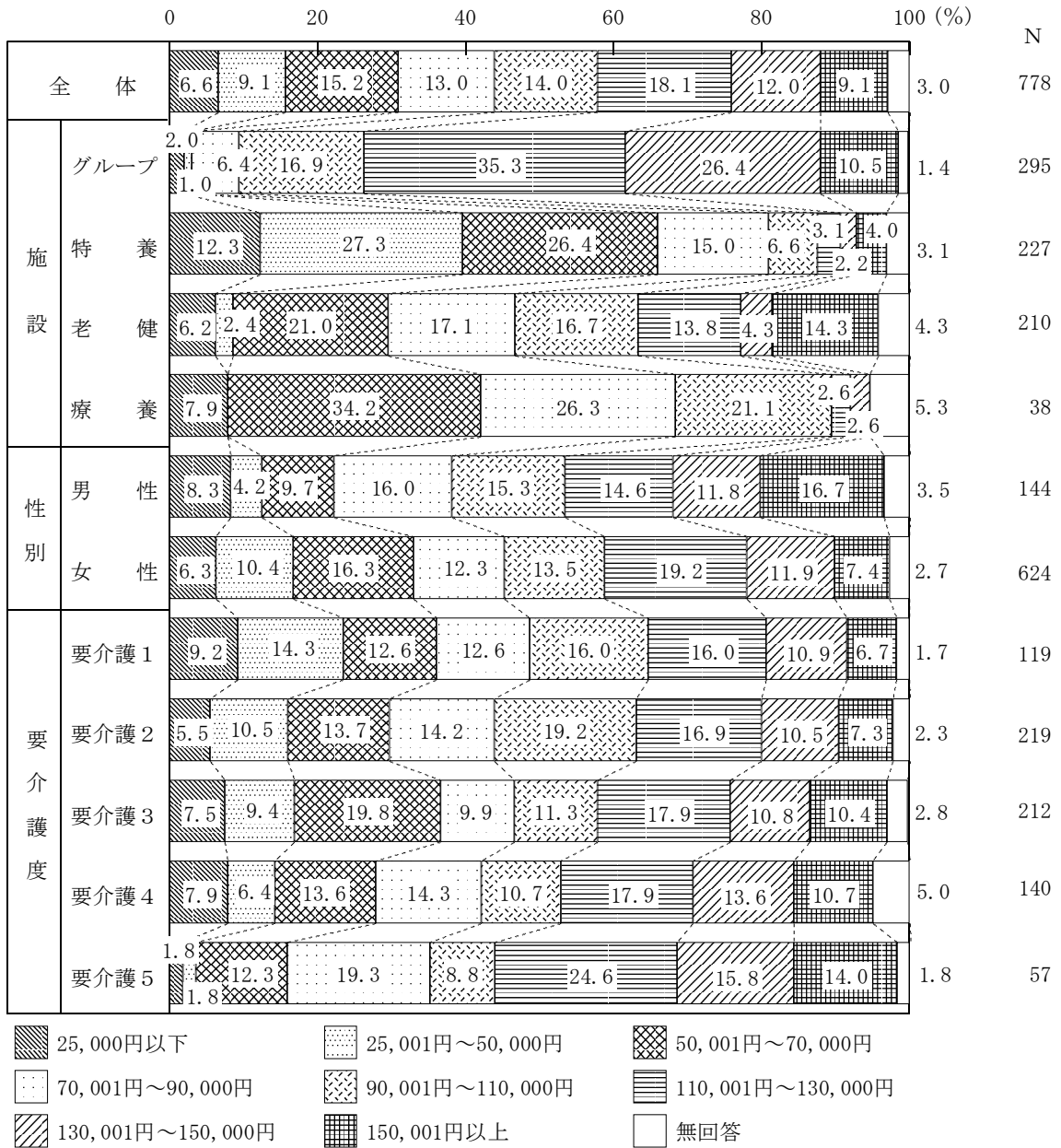
- 電動ベッドだと自分で起き上がることができると思うが…。
- 体調不良時に薬をもらえなかった。どうしてかわからない。
- いろいろあるけど。
- 本人認知症のため代筆ですが、これらの質問に答えることのできる入居者はほとんどいないと思います。
- 一方的な値上げ。
- 利用者負担金がいろいろな理由で値上がりしてくる。グループホームでの長期安定価格に依る安定生活。
- お金のこと。
- 困難かもしれないが、日常着と夜間着の区別（生活のメリハリ）をしてほしい。
- 服が汚れたらすぐに交換してほしい。
- 駐車場が狭い。車が停めにくい。

5 利用者負担

(1) 1か月分の利用者負担金

「直近の1か月分の利用者負担金（日常生活費・差額ベッド代等を含みます）はどれくらいでしたか」という設問に対しては、「110,001円～130,000円」（18.1%）が最も高く、次いで「50,001円～70,000円」（15.2%）、「90,001円～110,000円」（14.0%）などとなっています。グループホームは、110,001円以上が72.2%と高くなっています。

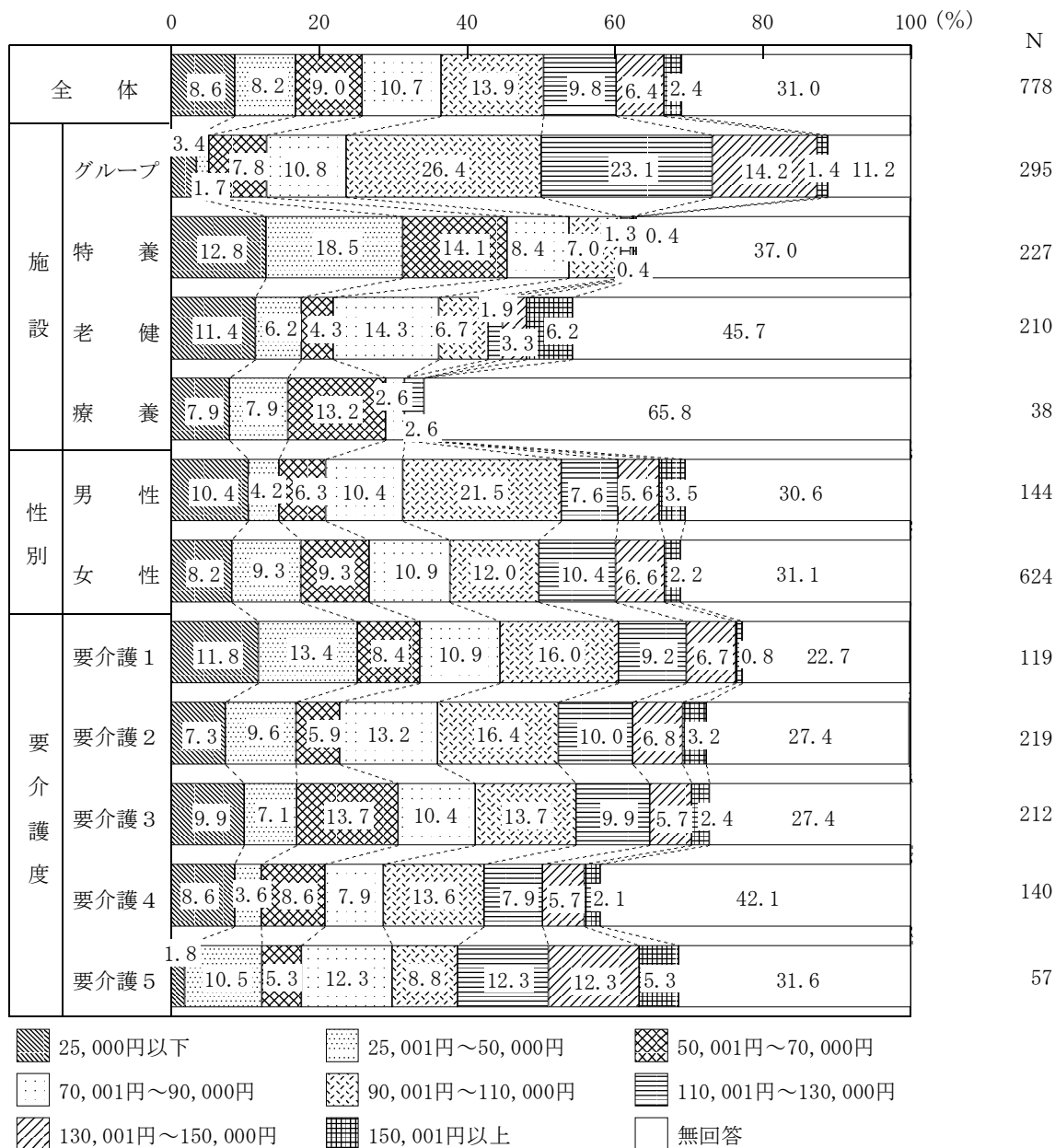
図5-14 直近1か月分の利用者負担金



(2) 負担が可能な利用料

施設の利用に月いくらまでなら負担が可能なかをたずねた結果が図5-15です。おおよそその平均値を計算すると約83,000円となり、前頁の1か月分の利用者負担金の約93,000円より1割強低下しており、現在の利用者負担金を支払うことが苦しい人もいと推測されます。

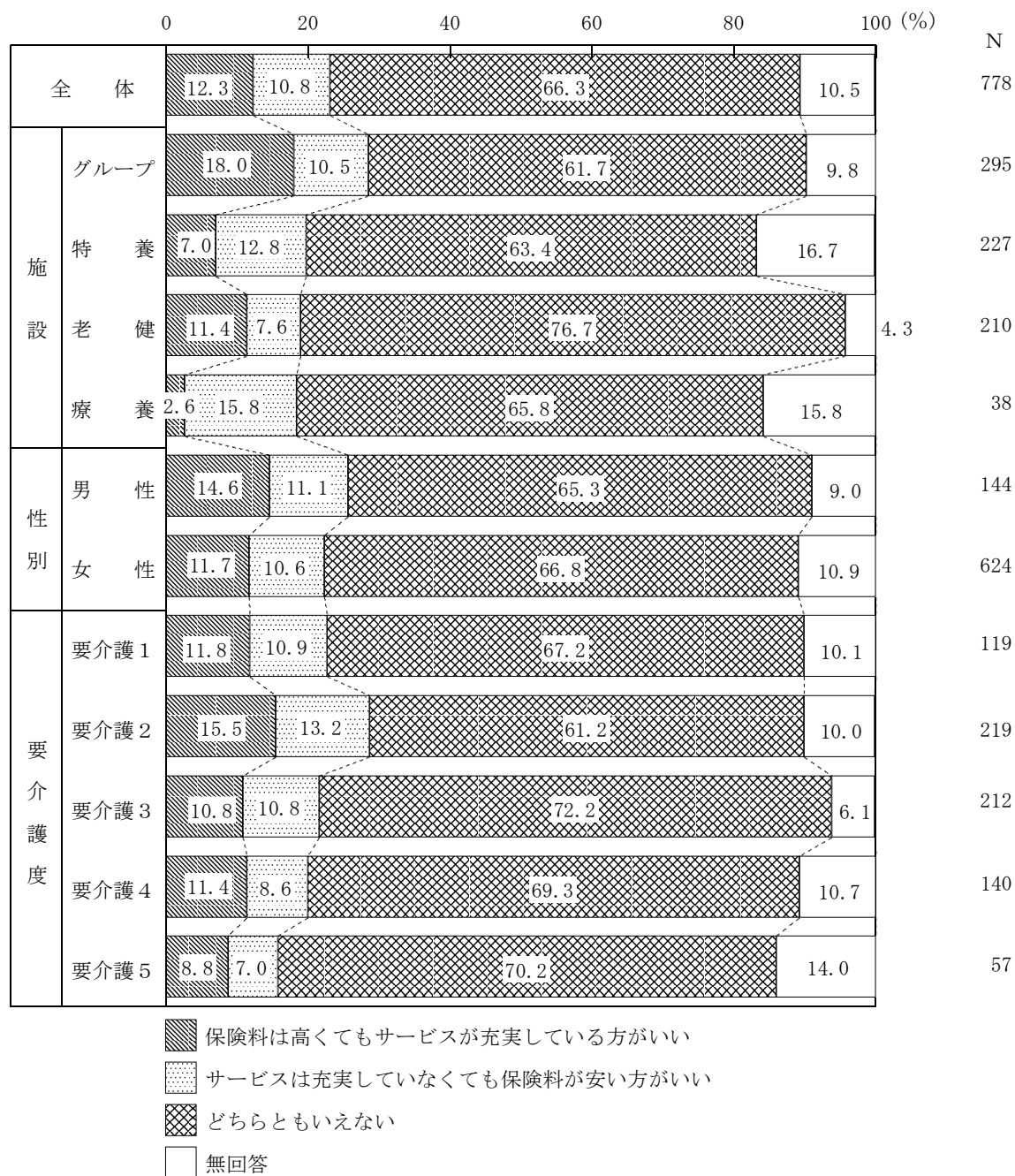
図5-15 負担が可能な利用料



(3) 介護サービスの水準と保険料について

介護サービスの水準と保険料の関係について聞いたところ、「どちらともいえない」(66.3%)が最も高く、次いで「保険料は高くてもサービスが充実している方がいい」(12.3%)、「サービスは充実していなくても保険料が安い方がいい」(10.8%)、「サービスは充実していなくても保険料が安い方がいい」(10.8%)となっています。

図5-16 介護サービスの水準と保険料



6 今後の介護を受けたい場所

介護保険施設入所者に今後の介護を受けたい場所を聞いた結果が図5-17、グループホーム入居者に今後の暮らしたい場所を聞いた結果が図5-18です。介護保険施設は、「現在の施設」(67.5%)が、グループホームは「グループホーム」(58.0%)が最も高くなっています。いずれも2番目は「自宅」であり、特に療養病床等と老人保健施設の「自宅」が高くなっています。

図5-17 今後の介護を受けたい場所（介護保険施設）

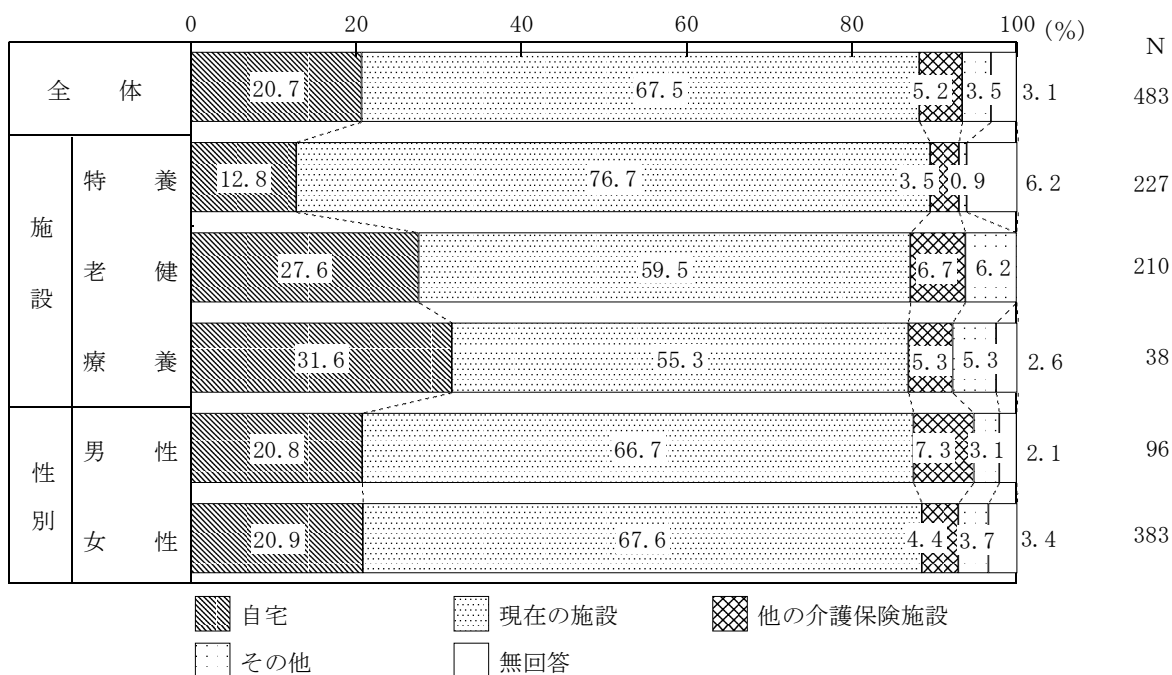
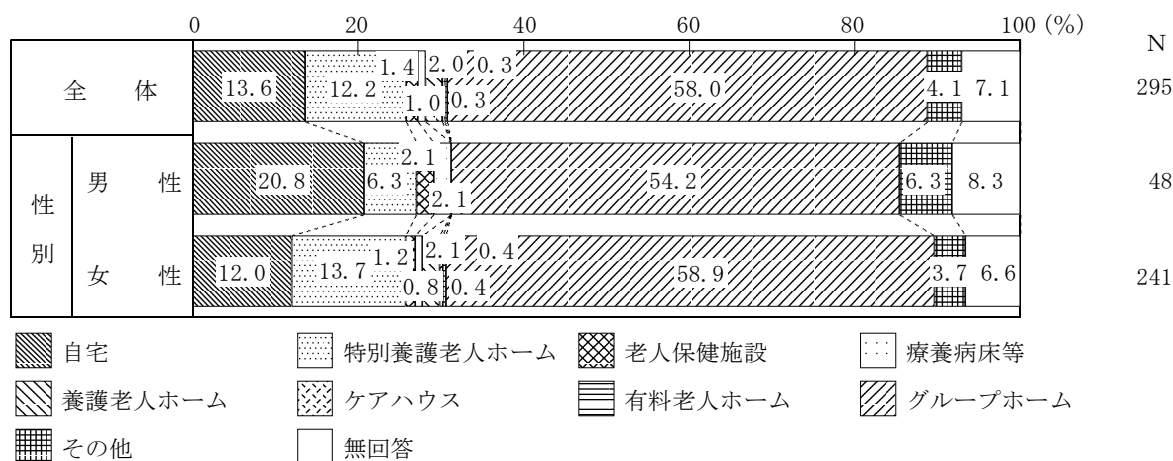


図5-18 今後の暮らしたい場所（グループホーム）



「その他」として、以下の記述がありました。

1 介護保険施設

- わからない。(5件)
- 何とも言えない。
- 市営住宅で暮らしたい。
- 子どもたちと暮らしたい。
- 自宅がいいが、家ではむずかしい。他にどこの施設があるかわからない。
- 他の施設かどうかわからない。
- 変える場所がない。
- 息子と暮らしたい。
- 鳥取県に行きたい。兄弟がいる。いずれは施設。
- 帰りたいけど帰れない。
- 帰りたいけど家の人に迷惑がかかる。月に何回かは帰りたい。

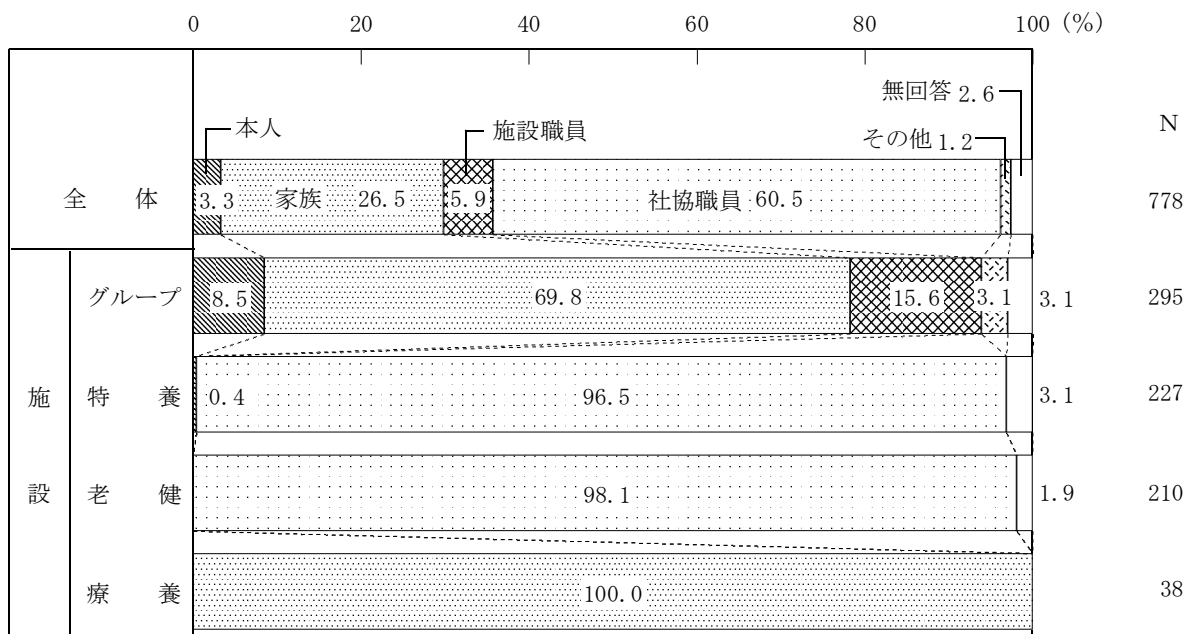
2 グループホーム

- 認知症のため本人判断できません。(3件)
- 本人は自由に自宅で一人で住みたいと思っているかもしれませんが、無理です。一人ではとても生活できない状態です。
- 自宅にいても自宅だとわからない状態なので、安心できる人と暮らしたいと思っているのではないのでしょうか。
- 身体的にできないのですが、心の中は自宅です。
- 娘次第です。
- 本人は自宅へ帰りたいと思っていると思うが、本人の状態や家庭環境等無理があります。
- 自宅で生活したいが、ひとり暮らしであり、足腰が弱っていることや薬等の管理ができない、火の始末等を考えると実現できない。
- 上記の施設の具体的な仕組みが正確に認識できていないので、丸を記入できません。
- 現在のグループホームで長く世話をしていただければ良いが、病院が併設された認知症対応特別養護老人ホームが経済的にも安心の面でも望まれる。

7 調査票の記入者

調査票の記入者は、特別養護老人ホーム、老人保健施設および療養病床等は聞き取り調査した「社会福祉協議会職員」が最も高く、郵送調査をしたグループホームは「家族」が最も高くなっています。「本人」と答えているのは3.3%（26人）にすぎません。

図5-19 調査票の記入者



(注) グループホーム入居者用の調査票には「社協職員」という選択肢はない。